

事業番号	05 04 03	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	戦没者等援護事業	部局	健康福祉部	課・室	地域福祉課	
		実施期間	S25 ～	E-mail	chiiki-fukushi @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

戦没者遺族や中国帰国者の高齢化に対応した支援を実施していく必要がある。

2 事業目的

- ・先の大戦における戦没者を追悼することにより、県民が平和の尊さを理解し、平和を祈念することに寄与する。
- ・戦後幾多の困難を乗り越えて祖国日本へ帰国した中国帰国者が、言葉や生活習慣の違いから孤立することなく、地域で安心して穏やかに暮らせるよう生活上の困りごと等に対し中国語による相談支援等を行う。

3 事業目的を達成するための取組

- ①戦没者の慰霊**
- ・県民が平和の尊さを理解し、平和を祈念することに寄与するため、県民が戦没者の追悼と、平和を祈念する事業への継続実施
 - ・長野県戦没者追悼式の実施、全国戦没者追悼式への代表遺族の派遣、沖縄「信濃の塔」慰霊・戦跡巡拝（主催：長野県遺族会）への補助等
- ②中国帰国者の地域生活への支援**
- ・中国帰国者の生活上の困りごと等に対応するため、中国帰国者支援相談員を5名配置
 - ・中国帰国者が言葉や生活習慣の違いから孤立することなく、暮らせるように、日本語教室の開催、通訳の派遣 等を実施
- ③中国帰国者の援護**
- ・訪日調査において身元が判明しなかった中国残留孤児について、きめ細やかな肉親調査を実施するため、元開拓団関係者である当時の事情に精通した者を身元未判明孤児肉親調査員として2名配置



4 成果指標

(推移の凡例 ↗: 改善 ↘: 悪化 →: 変化なし —: 数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	指標なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
4-2①	年齢・性別・国籍・障がいの有無や経済状況等が障壁とならない公正な社会の創出											

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	27,650	0	27,650	11,432	24,715	2.0
R4年度	0	28,483	0	28,483	11,160	23,289	2.0
R3年度	0	31,659	0	31,659	14,581	25,215	2.0

事業番号	05 04 03	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	戦没者等援護事業		部局	健康福祉部	課・室	地域福祉課

7 主な取組実績と成果

①戦没者の慰霊

- ・県民が平和の尊さを理解し、平和を祈念することに寄与するため、平和学習会を令和5年11月に実施した。
- ・令和5年度長野県戦没者追悼式を県主催で実施し、509名の遺族が参加。全国戦没者追悼式への代表遺族56名を派遣した。
- ・令和6年2月7日に行った沖縄「信濃の塔」慰霊・戦跡巡拝事業への参列遺族の旅費1,473千円を補助した。

②中国帰国者の地域生活への支援

- ・中国帰国者支援相談員を5名配置し、中国残留邦人世帯等に対して、日常生活相談や就労相談等を実施した。
- ・日本語学習の場を提供するため、日本語教室を371回開催し、言葉や生活習慣の違いから孤立することなく暮らせるよう支援した。また、自立支援通訳を7名配置し、日本語の習得が困難な高齢帰国者等の通院等における通訳を実施した。

③中国帰国者の援護

県下を2ブロック（東北信、中南信）に分け、元開拓団関係者である当時の事情に精通した者を調査員として1名ずつ計2名配置することで、相談があった場合の体制を整備した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	指標なし	R4年度推移	—	R5年度推移	—	達成状況	—
—							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・戦没者遺族や中国帰国者の高齢化に対応した支援を実施していく必要がある。
- ・戦没者遺族援護については、高齢化に伴い、遠方まで足を運び、追悼式に出席することが難しくなっている方もいる。全国戦没者追悼式は、参列できる遺族の範囲が曾孫までと幅広いため、平和を次世代に継承するためにも若い世代の参列に向けて取り組む必要がある。
- ・中国帰国者については、高齢化に伴い、医療や介護を中心に、相談内容や通訳業務が複雑化しているため、引き続きひとりひとりに寄り添った丁寧な支援が必要である。

(2) 事業改善の方策

- ・戦没者追悼式は、県民すべてが戦没者に慰霊の誠を捧げ平和を祈念するための式典であり、今後も引き続き事業を実施していくが、実施にあたっては、介添の職員を多く配置したり、開催地の地元学生の協力を得るなど、戦没者遺族の高齢化に配慮する。
- ・中国帰国者援護は、帰国者の置かれた特別な事情に鑑み、交流会や日本語教室の開催、通訳の派遣等ニーズに応じた支援を実施していくとともに、帰国者の高齢化に伴い増加する医療等の通訳に対応できるよう、積極的に研修等に取り組んでいく。

事業名	戦没者等援護事業	部局	健康福祉部	課・室	地域福祉課
-----	----------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	戦没者慰霊事業		8,261 千円	6,171 千円	7,428 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県戦没者追悼式の実施	直接	本県出身戦没者を慰霊するため、遺族等の参列のもと、県主催にて追悼式を実施 R5.10.21（土）にキッセイ文化ホールで実施。		
2	全国戦没者追悼式への代表遺族の派遣	直接	政府主催の全国戦没者追悼式に、本県代表遺族56名を派遣 R5.8.15に日本武道館で行われた全国戦没者追悼式に代表遺族を派遣		
3	沖縄「信濃の塔」慰霊戦跡巡拝への補助	補助金	沖縄「信濃の塔」慰霊・戦跡巡拝に係る費用の一部を補助 補助先（一般財団法人長野県遺族会） R6年2月7日に行った追悼式開催経費及び参列遺族の旅費を補助。		
4	沖縄「信濃の塔」維持管理	委託	本県が所有する沖縄「信濃の塔」周辺を良好な状態での維持管理を実施 委託先（公益財団法人 沖縄平和祈念財団） 維持管理に係る委託料を支出		
5	慰霊巡拝事業	直接	政府主催の海外慰霊事業及び郡市主催の戦没者追悼式等に知事名で供花料を支出 郡市戦没者慰霊式10か所及び、政府主催の慰霊事業等に供花料を支出		
6	満蒙開拓平和記念館協力金支給事業	直接	満蒙開拓平和記念館が創設した「自治体パートナー制度」へ加入し、協力金を支出 50千円×10口＝500千円で引き続き加入		

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	中国帰国者地域生活支援事業	16,902 千円	17,066 千円	17,235 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	中国帰国者支援相談員による支援	直接	帰国世帯の日常生活の相談・指導を行うため、中国語会話のできる相談員（5人）を配置し、支援を実施 県内5保健福祉事務所に配置	
2	日本語教育支援事業	委託	日本語学習の場を提供するため日本語教室を長野県日中友好協会に委託し、実施予定 開催数：371回、延べ1792人受講	
3	通訳等派遣事業	直接	帰国者の生活相談に応じる自立指導員及び医療機関等で通訳を行う自立支援通訳を派遣 被支援者の要望に応じて派遣。県内に7人配置	
4	市町村担当者研修会	委託	中国帰国者への理解を深め、地域の状況に応じた支援を考える研修会の開催 県内の支援関係者を対象に1回開催	
5	給付金（日本語教室通所活動推進）	直接	日本語教室参加のための交通費を給付 被支援者の利用実績及び請求に応じて給付。	
6	スクーリング事業	委託	日本語の遠隔学習（通信教育）を補完するため、講師による対面授業を実施 委託先（長野県日中友好協会） 開催数：31回、延べ143人受講	
7	中国帰国者支援交流会	委託	下伊那日本語交流サロン等を実施 委託先（長野県日中友好協会） 開催数：12回、延べ108人受講	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	中国帰国者援護事業	52 千円	52 千円	52 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	身元未判明孤児肉親探し調査事業	直接	県下を2ブロック（東北信、中南信）に分け、元開拓団関係者である当時の事情に精通した者を調査員として1名ずつ計2名配置 県内に2名配置。	